



TITLE:

表紙・目次 (泌尿器科紀要 第25巻
第8号) 編集後記・編集委員・購読
要項・投稿内規

AUTHOR(S):

CITATION:

表紙・目次 (泌尿器科紀要 第25巻第8号) 編集後記・編集委員・購読要
項・投稿内規. 泌尿器科紀要 1979, 25(8): 882-882

ISSUE DATE:

1979-08

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/122472>

RIGHT:

泌 尿 器 科 紀 要

第 25 巻 第 8 号

1979年8月

黒ザル尿管上皮の走査電顕的研究(英文).....武藤 浩・ほか	753
抗菌剤の膀胱壁内移行に関する研究	
Ⅰ 実験的膀胱炎作成家兎における Pivmecillinam 投与時の膀胱壁内	
Mecillinam 濃度ならびに Serratopeptidase 併用時の影響に	
ついて.....足立望太郎・ほか	761
腎不全症例の腎シンチグラフィー	
—原疾患別の ^{99m}Tc -DMSA 腎シンチグラフィーについて—.....細川 進・ほか	767
Prader-Willi 症候群の5例.....片山 香・ほか	773
Prader-Willi 症候群の2例.....林正 健・ほか	781
辜丸細網肉腫の1例.....相原 昇・ほか	789
無辜丸症について—1成人例の経験から—.....広川 信・ほか	795
結節性硬化症の不全型と考えられる両側腎血管筋脂肪腫の1例.....荒井 陽一・ほか	805
巨大膿水腎症の1例.....山崎 章・ほか	813
原発性尿管アミロイドーシス—症例報告(英文).....大城 清・ほか	821
化膿性尿管管囊胞の1例.....松岡 啓・ほか	825
副甲状腺手術後の低カルシウム血症に対する	
合成活性型ビタミンDの使用経験.....川村 泰一・ほか	833
前立腺肥大症に対するステロイド性アンチアンドロゲン剤の応用	
TSAA-328 と TSAA-291 の臨床試験.....吉田 圭三・ほか	841
前立腺癌に対する Estramustine phosphate disodium	
(Estracyt®) 内服療法の臨床的検討.....吉田 英機・ほか	853
複雑性尿路感染症に対するメリシンの	
治療効果にかんする open study.....桐山 齊夫・ほか	863
新しい cephalosporin 系抗生剤 cefadroxil	
による尿路感染症治療効果.....佐川 史郎・ほか	871
Flavoxate hydrochloride 錠の使用経験.....三木 恒治・ほか	877

CONTENTS

A Study by Scanning Electron Microscopy of the Ureter	
Epithelium of the Black Ape.....H. Muto et al....	753
Study on Levels of the Antimicrobial Agents in the Urinary Bladder Wall	
Ⅰ. Mecillinam (MPC) Levels in the Bladder Wall After Oral	
Administration of Pivmecillinam (PMPC) Combined with	
Serratopeptidase in the Rabbits with Cystitis.....B. Adachi et al....	761
^{99m}Tc -DMSA Renal Scintigraphy in Renal Failure Due to	
Various Renal Diseases.....S. Hosokawa et al....	767
Prader-Willi Syndrome: Report of Five Cases.....T. Katayama et al....	773
Prader-Willi Syndrome: Report of Two Cases.....K. Rinsho et al....	781
Reticulum Cell Sarcoma of the Testis: Report of a Case.....N. Kashihara et al....	789
Congenital Anorchia: Report of an Adult Case.....M. Hirokawa et al....	795
Bilateral Renal Angiomyolipoma with No Other Stigmata of	
Tuberous Sclerosis Complex.....Y. Arai et al....	805
Giant Pyohydronephrosis: Report of a Case.....S. Yamasaki et al....	813
Primary Localized Amyloidosis of the Ureter: Case Report.....K. Ohshiro et al....	821
Infected Urachal Cyst: Report of a Case.....K. Matsuoka et al....	825
Effect of 1α -Hydroxycholecalciferol (1α -OH D_3) on Hypocalcemia	
Following Parathyroid Surgery.....J. Kawamura et al....	833
Treatment of Benign Prostatic Hypertrophy with Steroidal Anti-Androgenic	
Agents (TSAA-328 and TSAA-291).....K. Shida et al....	841
Clinical Studies on the Treatment of Prostatic Carcinoma with Estramustine	
Phosphate Disodium (Estracyt®).....H. Yoshida et al....	853
A Clinical Study on Pivmecillinam Treatment for Chronic	
Complicated Urinary Tract Infections.....T. Kiriya et al....	863
Clinical Effects of a New Cephalosporin, Cefadroxil in	
Urinary Tract Infections.....S. Sagawa et al....	871
Clinical Experience with Flavoxate Hydrochloride.....T. Miki et al....	877

Editor: Prof. Osamu YOSHIDA, M.D.

Department of Urology, Faculty of Medicine,

Kyoto University, Kyoto Japan 606.

京都大学医学部泌尿器科学教室

泌尿紀要

Acta Urol.

編 集 後 記

“何も知らない患者なればこそ、残忍な截石医の手にかかって不幸な運命を担われるのである。1時間に7人、多い場合は12人もの手術が次から次へと試みられて行く、手術医は何等の感動もなく、機械の如くメスを運ぶ、あちこちに起る阿鼻叫喚の声にも術者は平然たるものである。Taille手術の日こそは、患者にとって実に宗教裁判の場合の火刑に匹敵する恐怖の日であり、不幸の日である。然も無智な患者は、他の患者が残酷な手術を受けているのを目の当り見て、その流血の惨を目撃し、悲叫を聴き乍ら己れが順番の来るのを今や遅しと待っているではないか”

18世紀から19世紀の中頃にかけて、それこそ多くの外科医の血の滲むような努力にもかかわらず、膀胱結石の手術は残酷なものであった。それでもなお、多くの患者がこれを求めたということは、膀胱結石の苦しみが今日からはとても想像できないほど激しいものであったのだろう。

Morandの統計はいう、Hôtel-DieuおよびCharité病院でTaille手術を受けた812例のうち255例は術後死亡し、幸いに生き残った557例の多くに難治または不治の瘻孔が残った。(T.K.)

編 集 委 員

石 神 襄 次	前 川 正 信	宮 崎 重
新 谷 浩	園 田 孝 夫	友 吉 唯 夫
桐 山 音 夫 (副主幹)	吉 田 修 (主 幹)	

購 読 要 項

1. 発行は原則として毎月とし、年間購読者を会員とします。
2. 会員は年間予約購読料と5,000円(送料とも)前納していただきます。
分売は原則としていたしません。払込みは振替に限ります。口座番号 京都4772番 泌尿器科紀要編集部宛。外国は送料とも年間25ドルです。
3. 入会は氏名(フリガナ)、住所(雑誌郵送先)、勤務先をご記入のうえ編集部あて、はがきにてお申し込みください。

投 稿 内 規 (1969年1月改正)

1. 原稿の種類は綜説、原著、臨床報告、その他、和文または英文とします。
2. 原稿の長さは制限しませんが簡潔に願います。
3. 和文原稿は400字詰原稿用紙横書きとし、当用漢字、平かな、現代かなづかいを用い、片かなには「」を要しません。表、図の説明はなるべく英文にしてください。文中欧語学術用語は固有名詞、記号以外はキャピタルではじめる必要はありません。必ず英文抄録をつけ、これには英文の表題、所属機関名、ローマ字著者名も記入しておいてください。
英文抄録は詳細なものを歓迎します。ご希望の場合は当編集部にて作成しますので、抄録用の和文原稿を別につけてください。翻訳の実費は申し受けます。
4. 英文原稿の場合はタイプでダブルスペース打とし、和文表題と和文抄録をつけてください。
5. 数字はすべて算用数字を使用し、数量の単位はm, cm, mm, cc, ml, kg, g, mg, °C, μ, %, PHなどを使用し、は不要です。またBUN IVP NPN PSP TURなども、を要しません。
6. 表、図、写真などはすべて別紙とし、説明は和文、英文を問わずTable 1, Fig. 2等としてください。
7. 文献の書式は次のようにしてください。
A 雑誌の場合 著者名：誌名、巻数：頁数、西暦年次。(論文題名は自由です)
文献名は正式略称を用いてください。
例：日泌尿会誌、臨床皮泌、皮と泌、泌尿紀要、臨泌；J. Urol., Invest. Urol., Zschr. Urol. 等。
B 単行本の場合 著者氏名：書名、版数、Vol. 数、p. 数、発行所、出版地、年次。
8. 校正は初校のみ著者にもお願いし、再校以降は編集部のみがおこないます。著者複数の場合、校正責任者をお示しください。
9. 原稿は返却いたします。
10. 原稿到達日を受付日とし、予約による受付はいたしません。
11. 原稿送り先は、〒606 京都市左京区聖護院 京大病院 泌尿器科紀要編集部、書留便。

泌尿器科紀要 第25巻 第8号 1979年8月25日 印刷 1979年8月31日 発行
創刊 稲 田 務 顧問 加 藤 篤 二 定価 500円(送料別)

発行 吉 田 修 発行所 泌尿器科紀要編集部

〒606 京都市左京区聖護院川原町54 京都大学医学部泌尿器科学教室内 電話(075)751-3327(直通)
印刷所 山代印刷株式会社 京都市上京区寺之内通小川西入
